

ECサイト・新HPの構築、POSレジ導入で売上増を実現

株式会社辰馬コーポレーションは、1998年5月に京料理の店「京料理せんしょう」をオープンし、設立以降、落ち着いた空間で京料理・懐石料理を味わう「食の愉しみ」を人々に提供し続けている。2018年には、スイーツや日本酒を気軽に楽しめるカフェ「祇園おづkyoto」を新たにオープン。現在は形態の異なる2店舗を展開している。同社では、京料理という伝統の中に、時代に合わせた新しい技術を交えた「食」を提供する取組を進めており、介護食品として、歯茎でつぶして食べることができる「やわらか京料理」の開発・販売も行っている。

伝統的な個室専門料理店がメインであり、多岐にわたる顧客ニーズにきめ細かく対応する必要があることから、完全なIT化は難しい事業分野であるが、IT導入が可能な部分を探し、積極的にITを活用することで、販路の拡大や業務の効率化を実現している。

導入したITツール： EC、POSレジ、HP制作、顧客管理、会計・人事給与システム

ECサイト構築によるオンライン販売

同社では、店舗での料理提供だけでなく、新しい摂食回復支援食の研究を行っており「やわらか京料理」を開発している。これらの和惣菜やスイーツ、ドレッシングなどの調味料を店舗で販売していたが、新たにECサイトを構築してオンライン販売を開始したところ、売上が年5%アップした。特にB to Bの取引が増加し、ECサイトが販路拡大に大きく貢献している。



オンラインショッピングサイト

店舗形態に応じたITツールの活用

本店の京料理店「せんしょう」には顧客管理システムを導入して、創業時からの顧客に関する台帳を作成し、継続来店を促すPR活動に活用している。一方で、観光客や出張者に気軽に「食の愉しみ」を味わってもらうことをコンセプトにオープンしたカフェの「祇園おづkyoto」にはPOSレジを導入している。POSレジの活用により少人数での店舗運営が可能となり、人件費を削減できた。また「祇園おづkyoto」の販売状況が本店においてリアルタイムで把握できるようになり、それらのデータを仕入・販売計画に役立てている。さらに客の多くはインターネット予約による来店であり「京料理せんしょう」とは顧客層が異なることから「祇園おづkyoto」に対しては、Instagramによる広報など、ITを積極的に活用している。



京料理店「せんしょう」



カフェ「祇園おづKyoto」

HPリニューアルで自社の信用力をUP

「せんしょう」「祇園おづKyoto」の店舗紹介だけでなく「株式会社辰馬コーポレーション」としてのHPを作成し、企業理念や社会貢献に向けた取組を紹介している。それにより法人としての信用力が向上し、特にB to Bにおける取引の拡大に繋がっている。

専門家との連携

会計ソフト、人事給与関連システムを導入し、事務業務の効率化を進めている。専門家との迅速な情報共有が可能となり、よりの確なアドバイスを受けることができるようになった。同社では、京都商工会議所をはじめとする支援機関、中小企業診断士やITコンサルタント等の専門家からのサポートを受けつつ、ITを活用した効果的な経営を行っている。



リニューアルHP

IT導入の効果

- 「IT導入補助金」を活用しECサイトを構築。自社製品の販路が拡大し、売上高前年比5%を達成。
- POSレジ導入により、店舗オペレーションの効率化を実現（人件費の削減）。仕入・販売戦略への効果的な活用。
- HPリニューアルで、法人としての信用力が上がり取引先が拡大。会計・人事・給与システムの導入で業務の効率化を実現。さらに専門家との情報共有により、適切なアドバイスを受け経営環境も良好。

【企業概要】

・企業名：株式会社辰馬コーポレーション
・住所：京都府京都市右京区西院安塚町23番地

・電話番号：075-322-1913
・URL：<https://tatumacorp.jp/>